



みらい経営グループ

あなたの繁栄が私たちの喜びです！

税理士法人みらい経営レポート

〒456-0051 名古屋市熱田区四番二丁目14番34号

今月の視点

612号

仕事に直結するコミュニケーション手法と気遣い

～多様化する社員と協調するスキル～

私たちの社会は労働人口の減少、人的生産性の低下など大きな課題に直面しています。様々な年代や男女間、経験の違いも大きく、様々な人材が入社してコミュニケーションギャップが生じています。その中で人的生産性を上げていくためには、人的多様性を受け入れる高度なマネジメントスキルが求められています。

現状において「高年齢シニア人材の戦力化」、「経験豊富な女性の更なる活躍」、そして「30才前後の若年社員の入社と定着と活性化」の3つの課題が考えられます。

現在、AIが活発ですが、我が社のメンバーは人間性あふれる心を持った人間です。効率よく働いていく上ではコミュニケーション能力が大切です。「背中を見ろ」ではなく「言ってもわかってもらえない」時代です。コミュニケーションは古くて新しい課題です。業務効率化に職場の風通しを良くして、雰囲気の良いコミュニケーションで仕事の効率化を加速させてほしいと考えます。

以下、多様化する人材をうまく巻き込み協調する我が社のスキルを述べます。

(1)あいさつは、先手で明るくハッキリと

挨拶は一番大切なコミュニケーションです。「挨拶は当然の礼儀やマナーである」と言われますが、実は挨拶は人の心理に極めて重要な意味を持つ行為です。人はみな自分を1人の人間として認めてほしい、とか自分を尊敬できる社会的存在として認めてほしいという承認欲求を持っています。挨拶という行為は、挨拶をされた相手が持っている承認の欲求を満たす第一歩の意味を持っています。従って挨拶を交わすということは、互いに相手を認め、一緒に仕事をするチームの一員であるという承認行動なのです。

挨拶とは相手の心に響くものです。挨拶とは自分の心を開き、あなたが好きです、あなたの懷に飛び込みたい、あなたと共に仕事をしたいという気持ちを表します。語尾が不明確や暗い言い方では、相手の心に響かず逆に不愉快な気持ちにさせます。明るく大きな声でにこやかに相手の目を見て、元気よく丁寧に実施しましょう。挨拶は仕事より優先します。

そして、挨拶をするということは、何事にも声を出すことが大切である、との習慣付けです。言われなくてもわかってもらえるというのは幻想だと思ひましょう。

(2)「ありがとう(感謝)」をすぐにハッキリと

「ありがとうは何度言われてもうれしい」とよく耳にします。「ありがとう」は飽きませんし、聞けば聞くほど気持ちよい気分になります。この感謝の言葉も私たちの承認欲求を満たしてくれる言動の1つです。チームで仕事をしているならば、周囲の人には常に感謝の気持ちを忘れずに対応していくことが重要です。

(3)「謝る(ごめんなさい)」

「ごめんなさいは素直に謝る真摯な態度表現である」とは理屈では分かりますが、人はなかなか素直になれません。“謝罪は負け”という意識が働くのでしょうか、なかなか素直には振る舞える人は少ないのです。人間なら誰しも間違ふこともあるでしょう。そんなときは「ごめんなさい」と伝えることで信頼感が増し、部下も素直な態度で仕事に向き合うようになります。日頃から上司のこうした態度を見ていれば、失敗したときなどは言い訳せず、正直に事実を伝えてくれるようになります。そんな誠実な姿を見せるリーダーには部下からの報連相も活発になります。

(4) 部下に接する際の心得

- ① 始業時、終業時は部下に率先して挨拶をする。これは会社（チーム）を明るくし、チームの仕事を促進するはじめの一步です。（おはようございます）（お疲れ様です）
- ② 部下に背景と目的を伝えて役割分担を指示し、部下からの実施状況や報告を受けた時は労をねぎらう。「ありがとう」「お疲れ様」
- ③ 部下に注意すべきときは、遠慮なく速やかに穏やかに指摘する。
相手の気持ちを計るときはTP0で「ちょっと、いいかな別室で」
- ④ 叱るよりほめる。短所を探すより、長所を見出す努力をする。賞を先に、罰を後に。
- ⑤ 自ら率先垂範する。言行一致。矢面に立つ。
- ⑥ 自らの間違った言動に関しては、潔く謝罪する。
- ⑦ 話すとき聴くときは相手の方を向き、相手の目を見て態度に表し、穏やかな表情をする。

(5) 背筋を伸ばしてあごを引く、姿勢はやる気の第一歩

姿勢が正しくないと病気になったり疲れやすくなったりします。ましてや私たちは絶えず人と接する仕事です。姿勢だけでその人の評価が決まることもあります。

私たちの考えていることは態度に出ます。仲間を大切に、やる気のある人はにこやかな笑顔と5m前を見て歩いています。

(6) チームワークは相手を思う心から、連帯感を育てよう

会社は大きな組織体です。組織を作るのはその中の小さな組織体です。我々は絶えず組織というものから外れることなく仕事をしています。相手の気持ちを図りチームワークを保つことで連帯感が生まれます。

仲間づくり、チームワークのコツは「世のため人のため、ちょっぴり自分のため」の気持ちだと思います。常に周りを気にしていると結局自分に戻ってきます。

(7)物の整理は心の整理、感謝をこめて後始末

仕事をさせて貰えるのは、お客様があるからです。その仕事をする上で必要なことです。またこれからよろしくという気持ちで感謝し後始末をしましょう。キチンとした身なりは、人間力の現れです。

(8)朝礼は一日のスタート、大きな声で元気よく

朝礼というのはこれから仕事をしますと言うことと、今日も一日頑張るぞと言うことを含んでいます。また、大きな声を出すことで心の中に活気が出てきます。私たちは元気を訴えます。

(9)報連相は、体力増加の栄養素

報告、連絡、相談は自分自身を助けてくれます。組織の中では「報連相」は絶対です。これを無くして企業はありえません。「報連相」は企業の基礎体力です。もう一回と、何回でも行います。

(10)約束を守る心で、人格向上

決められたことを守る。これはビジネス、プライベートを問わず人間として絶対に必要なことです。もし守らなければその人の人格が疑われます。守ることで益々の人格向上が図れます。

＊キレイな言葉を使おう。仕事をしなくていい！でもキレイな言葉を使い、職員・顧客に寄り添い、感謝を感じましょう。(チンピラ言葉、子供言葉ーおい！こら！おまえ！おれ！ひでー！なんで！・・・)

＊私たちは先生商売です。謙虚な気持ちで、経営者目線で少し違ったことをやる・・・。

＊常に意識的に自身の人間性・人間力を気かけましょう。その人の人柄は知識ではなく、人間性・人間力が全身から発散しているかどうかです。

＊朝礼は自身の成長の場です。相手に話しかけるように心を込めて話します。プレゼンテーションの練習です。

＊職員基本行動の方程式（職場はプラス思考の人間育成道場とすること）

（京セラ）稲盛和夫氏

職員のヤル気		(前向きの)				
職員の向上	=	考え方	×	熱意	×	能力
業績の向上		(+100～△100 点)		(+100～0 点)		(+100～0 点)

人には能力があっても、熱意があっても、考え方が間違っているために十分な仕事の成果を出せない人がたくさんいます。

多少能力があっても、熱意があっても、考え方がマイナスだと掛け算なのですべてがマイナスになってしまうからです。今は能力があろうと、なかろうと、熱意を持ち、プラス思考で行動すれば、人生の結果は必ず良い結果になります。

仕事を面白くするコツを体得しましょう。仕事は我慢してやるものではなく、楽しむものです。

以上、我が社の「社員10の基本行動」の一部です。朝礼で唱和し大切にしています。
皆様方のご意見お待ちしております。

税理士法人みらい経営 石川光男

6月の税務と労務

令和8年4月の決算法人の確定申告、消費税など納税	期限（6月30日）
令和8年10月の決算法人の中間申告、納税	期限（6月30日）
令和8年10月の決算法人の消費税の中間申告	期限（6月30日）
令和8年5月分源泉所得税納付	期限（6月10日）

税理士・中小企業診断士	社会保険労務士・行政書士	石	川	光	男
税理士		秋	江	み	ほ
社会保険労務士		小	菅	初	子
〒456-0051 名古屋市熱田区四番二丁目14番34号					
TEL052(651)6000 FAX052(652)0066					

思うことが実現するコツ

- ◆目標を明確にする
- ◆実行する
- ◆心構えをよくする
- ◆良い仲間とつき合う

人間関係の極意

50円の穴は

へこんでいますか？

でっばっていますか？

慣れるとどちらにも見えます。

人間関係も同じで相手の良し悪しは見る人の心が決めます。(斑目力曠氏に学ぶ)